

立ち上がれ、ヤポーネ！

今こそ国歌「君が代」を紐解け!!

改良版

USA国歌



砲弾が赤く光を放ち宙で炸裂する中
我等の旗は夜通し翻っていた
ああ、星条旗はまだたなびいているか？

恐れおののき息をひそめる敵の軍勢が
切り立つ崖の向こうで
気まぐれに吹く微風に見え隠れする

彼等の邪悪な足跡は
彼等自らの血で贖（あがな）われたのだ

フランス国歌



暴君の血染めの旗が翻る
戦場に響き渡る獐猛な兵等の怒号
我等が妻子らの命を奪わんと迫り来たれり

武器を取るのだ、我が市民よ！
隊列を整えよ！
進め！進め！
敵の不浄なる血で耕地を染めあげよ

中国国歌



いざ立ち上がれ 隷属を望まぬ人々よ！
我等の血と肉をもって
我等の新しき長城を築かん
中華民族に迫り来る最大の危機
皆で危急の雄叫びをなさん

万人が心を一つにし
敵の砲火に立ち向かうのだ！

タイ国歌



血と肉によるタイの団結
タイはすべてタイ国民に属せり
一致団結 国家の独立永らえん
平和を愛するタイ国民
苦難に屈する臆病者なし
侵されることなき国家の独立
自由のために命を捧げん
タイ万歳 永きに渡る勝利を！

イスラエル国歌



心の奥底に秘めた
ユダヤ教徒の魂が切望するは
眼差し向かう東の地 シオン

二千年の我等の望み
今だ失われず
祖国にて自由を勝ち取らん
シオンの地 そして エルサレム

ブラジル国歌



イピランガの川岸から聞こえる
鳴り響く勇者達の雄叫び
祖国の空に自由の太陽が光輝く

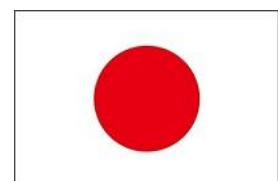
力強い腕（かいな）で勝ち取りし平等の誓い
おお 自由よ その胸の中へ
我等の魂は死をも厭わない
愛しき 崇拜すべき祖国よ
万歳！万歳！

多くの国歌が、戦争(戦い)において相手を打ち倒すこと、あるいは力の鼓舞でもって人々を奮い立たす歌詞。



日本の国歌「君が代」

君が代は
千代に八千代に
さざれ石の
巖となりて
苔のむすまで



君（帝）のつくりし（泰平たる）この世界が、
千年、万年と、
小さな石が固まり岩となり、
更にはそれに苔のむすまで、
時を超えて永遠でありますように。

オリジナル
和漢朗詠集（古今和歌集）

我が君は 千代にやちよに さざれ石の 巖となりて 苔のむすまで

君が代のその音をヘブライ語にすると

君が代は	クム・ガ・ヨワ
千代に	チヨニ
八千代に	ヤ・チヨニ
さざれ石の	ササレー・イシィノ
巖となりて	イワオト・ナリタ
苔のむすまで	コ（ル）カノ・ムーシュマツテ

参考までに①

日本(古代の呼び名)
豊葦原瑞穂国（あしはらのみずほのくに）

古台ヘブライ語では、
「ミズホラ」とは、
東方の日出る国
「アシハラ」とは、
約束の地カナン

その意味は、

立ち上がり神を讃えよ
シオンの民
神の選民
喜べ残された民よ 救われよ
神の預言は成就した
全地に語れ

※イスラエル国歌における「シオン」とは？

東の地

一般的にシオンとは、イスラエルのエルサレム地方の歴史的地名であるが…

日月神示

今度は根本の天の御先祖様の御霊統と根元のお地（つち）の御先祖様の御霊統とが一つになりなされて、スメラ神国とユツタ（ユダヤ）神国と一つになりなされて末代動かん光の世と、影ない光の世と致すのぢや

参考までに② 日月神示

世の中の九分九厘が悪神の天下になったときに、最後の一厘で神業が発動され、大どんでん返しがおこり、世の建て替え建て直しが一気に始まる

参考までに③ 聖書外伝

地球最終章の時、東の島から四隅を鳴らし、歌を携え平和の使者が、神の栄光を称えにやって来る。

世界が混乱し、どうしてよいか分からなくなった時、

日本人は、
日本のアイデンティティを知り、
神の子として（選ばれし民として）の自覚を持ち、

末法の世（すなわち人類の愚かさゆえに、この地をぐちゃぐちゃにしてしまった時）
その課されし使命を思い出し、立ち上がれ！

そして、人類を救い、
この地球を再び恒久の平和の星として、
甦らせよ！

1000兆円以上の借金を抱え、少子高齢化で国力が低下しつつあり、
マイナス金利を導入し（アメリカは金利を上げ）たにも関わらず、
（ドルは売られ、）円が買われ、
国債が買われるという

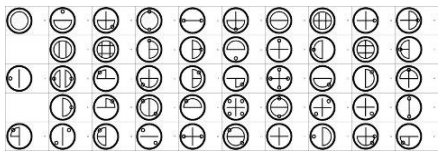
この意味は？

世界の人々は、潜在意識の中に、日本（東の国の人）が、最後は救っ
てくれるとの思いがある！

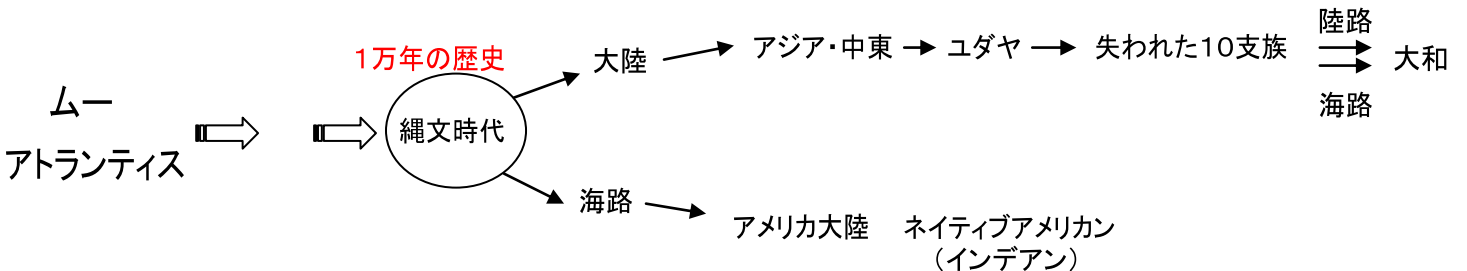
※ただしそれを潰そうとする勢力もあり！

&
今日本はほぼ潰された状態にある

ワンワールド
人類奴隷化



何故ユダヤと一つになる？



日本人の使命

ユダヤと一つとなり、この地球を救い（再び生命溢れる星とし、）、
永遠の国とせよ
恒久の世とせよ

参考: 天下泰平
「日本からあわストーリーが始まります」 香川宜子著（ヒカルランド）
世界の国歌 WORLD ANTHEM